オンライン勉強会：GIGA スクールとデジタル教科書の問題点

ＧＩＧＡスクール構想が始まって4年たちましたが、文部科学省の調査によると、「目や心身の健康に支障が生じる懸念が強い」と答えた学校長は5〜6割に達します。政府は2024年からデジタル教科書の利用を本格化しようとしていますが、子どもたちの健康を損なう可能性も指摘され、とくに電磁波過敏症の子どもたちや教師は深刻な影響を受けることになります。すでに学校へ行けなくなった子どもや教師もおり、アメリカでは学校Wi-Fiを巡って裁判がおきています。具体的にどのようなリスクがあるのか、子どもたちにどのような影響が出ているのかを知るため、オンライン学習会を開催します。

日時：2023 年 7 月 25 日（火曜）　13：00〜15:00 まで

参加費：無料（カンパ歓迎）

プログラムと講師紹介

・「ＧＩＧＡスクール・デジタル教科書の問題点と指針の必要性」加藤やすこ（環境ジャーナリスト、過敏症患者会いのち環境ネットワーク代表、論文：「GIGAスクールおよび5Gの電磁波と諸外国による対策に関する最近の動向―環境ジャーナリストからみた環境過敏症―」,『室内環境』,25(1)53-56,2022）

・「電磁波の危険性について国際医学学会及びEU議会議員の報告書より」　山口みほ（文学博士、元九州大学／久留米大学非常勤講師、論文：「The EMF Medical Conference 2021について概観：電磁場の健康影響の拡大、その生物学的メカニズム、ノセボ効果ではないというエビデンス、及び対策」『臨床環境医学』 31(2):78-90, 2022(2023) http://jsce-ac.umin.jp/200725/files_jjce/31-2/jjce31-2_04.pdf

・「学校で子どもたちに起きている被害の現状」　中西泰子（こどもの学習環境を守る会）

参加方法：下記にメールしてください。後日、zoom URLをお送りします。

申し込み締め切り：7 月 23日（日曜）

連絡先： yas-kato20@nifty.com　　　主催： いのち環境ネットワーク

音声はミュート（消音）にしてご参加ください。質疑の際のみ、ミュートをオフにしてください。学習会の音声・画面を記録・複製・販売することは禁止しています。映像や音声が乱れる場合は、一度退席し入り直して下さい。

ぼくは小学六年生です。Wi-Fiやスマートメータが近くにあると頭のてっぺんがズキズキ痛くなります。学校ではパソコンを使わない時はアクセスポイントのコンセントを抜いてもらっています。もし、デジタル教科書がクラウド版になったらずっとWi-Fiがつながったままになるかもしれないので体調をくずして学校に通えなくなったらいやです。デジタル教科書はダウンロード版にして欲しいです。

小学生の男の子のメッセージ。「Wi-Fiやスマートメーターが近くにあると頭のてっぺんがズキズキ」と痛みます。今は、パソコンを使わない時に、「アクセスポイントのコンセントを抜いてもらっています」。しかし、クラウド版が導入され、Wi-Fiがつながったままになれば、学校に通えなくなるかもしれません。

電磁波過敏症になると、Wi-Fiや携帯電話の電磁波で、頭痛や耳鳴り、鼻血、動悸、イライラ、睡眠障害、極度の疲労感など、さまざまな症状が出ます。また、電磁波過敏症患者の約80%が、化学物質過敏症を併発しています。

イラスト：竹田なお